

講演概要

日本では、外国人児童生徒の継承語を保持するメリットが学校や社会において十分に理解されておらず、親の母語による子育てを推奨している自治体も極めて限られています。このような状況の中で、現地語、継承語の双方を伸ばす重要性や、そのための有効な指導ストラテジー（例：トランスランゲージング）とされる Crosslinguistic Pedagogy について、カミンズ氏にお話しいただきます。

それに加え、教師が主体となって複数言語環境で育つ子どもの継承語・継承文化の価値を吊り上げるための変革的マルチリテラシーズ教育学について、詳しくお話しいただきます。日本の外国人児童生徒教育や、海外子女教育研究の第一人者であり、ご著書でも変革的マルチリテラシーズ教育学の重要性に言及されている佐藤郡衛氏に、討論者としてご登壇いただきます。

会場から質問を受ける時間も設けております。